

地域医療機能推進機構

ひまわり

地域医療支援病院



独立行政法人地域医療
機能推進機構

宮崎江南病院

院長 白尾 一定

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985-51-7575
FAX.0985-53-8821

vol 45

地域医療機能推進機構（JCHO）へ移行して3年目を迎えました。当院は、地域医療支援病院としての急性期医療と地域包括ケア体制支援として在宅療養後方支援病院の役割を果たしてまいります。当院のホームページに「地域包括ケア推進センター」の項目を追加し、「わたしの健康栄養手帳」を公開しました。「安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院」のキャッチフレーズを胸に職員一同邁進してまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成28年1月吉日

宮崎江南病院 院長 白尾 一定

理念

私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切にし地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します。

キャッチフレーズ

安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院

地域医療を支える

The region is supported



ありかわクリニック

院長 有川 章治

〒 880-0933
宮崎県宮崎市大坪町 2210-1
TEL 0985-86-7272
FAX 0985-86-7273



平成 27 年 8 月 1 日に宮崎江南病院のすぐ近くに開業致しました。

出身は都城市で都城西高校を卒業し宮崎医科大学（現：宮崎大学）医学部に入学しました。大学在学中はラグビー部に在籍し心身共に鍛錬され平成元年に卒業し同大学の脳神経外科学講座に入局致しました。

私が脳神経外科医を志した理由としては、まず当時の教授が木下和夫先生であったことです。外科医を漠然と志望していた学生時代に木下先生と知り合い、先生は非常に理知的でお優しい性格に、「この先生の下で働けたらいいなあ」と常々考えておりました。

またラグビー部の先輩方も脳神経外科に入局されたことと、自分の祖父母が脳卒中で亡くなったこともあり脳神経外科医を志すことに致しました。しかし入局後は予想以上の非常に厳しい環境下で働くこととなり 24 時間 365 日気を緩ませることが出来ない状態でしたが、ラグビーで鍛えた体と精神力、そして若さでなんとか頑張ってきました。

宮崎江南病院には平成 13 年 5 月から 1 年間勤務させて頂きました。当時の看護師さんなどのスタッフには非常に親切にして頂き、特に現院長の白尾先生をはじめとする他科の先生方には大変お世話になりました。脳外科以外の事を色々学んだ 1 年で人間的に大きく成長した時期だったと自覚しております。その後主にお世話になったのは都城市郡医師会病院（計 7 年間）、潤和会記念病院（計 9 年間）です。都城市郡医師会病院では脳外科以外の救急疾患に治療にも携わらせて頂き、ここでも他科の先生方に非常にお世話になりました。

潤和会記念病院は宮崎市郡医療圏の救急医療、特に脳外科領域では中心的な役割を果たしてき

た病院で、脳外科だけでも間 1000 人の入院患者さんがおられ、そのうち 6 割が脳血管障害、いわゆる脳卒中の患者さんでした。くも膜下出血などの出血性疾患の手術を沢山経験させて頂き、一般的な手術技量は身についたつもりです。また同院は現・名誉院長の呉屋先生が脊椎手術を得意とされており、県内はもちろんのこと、九州管内からも多くの患者さんが来られていたため、私も脊椎の手術を沢山経験させて頂きました。大変感謝しております。

以上の様に多くの経験をさせて頂き外科医として熟成した感があったのですが、徐々に体力の衰えを感じだし、近眼に老眼が加わり細かい物が見えにくくなり、持病の腰痛も時々悪化しだし手術に自信が持てない状態になってきました。反面、外来で患者さん達と色々な話をすることが面白くなり、医療のことから趣味、政治・社会などを話すことで患者さん達との距離が縮まっていく感がありました。

また脳卒中の原因となる高血圧症・糖尿病・高脂血症などの基礎疾患、喫煙などの嗜好への十分な管理が必要なことを感じ、地域医療への関心が高まっていき、開業の決意を下したわけです。

更に昨年、木下先生がお亡くなりになり、その後実父も亡くなったこともあり、人生の転換期が来たのを実感致しました。

今後は宮崎江南病院をはじめ近隣の先生方と連携を取りつつ地域医療に貢献致したいと存じます。

「的確な検査、的確な診断、的確な治療」をモットーに、何でも気軽に相談できるかかりつけ医を目指しますので宜しくお願い致します。

特別講演会

Information

一般演題

消化器内視鏡の今昔

JCHO 宮崎江南病院 放射線科
医長 伊藤 泰教 先生

特別講演

頭部画像診断の最前線

宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野
教授 平井 俊範 先生



平井教授の講演



質疑応答

参加いただきました先生方、スタッフの皆様ありがとうございました。

江南カフェ

konan cafe

院内多職種連携 第3回 江南カフェ開催



院内紹介

Introduction in the hospital

今回は 附属介護老人保健施設 です。

宮崎江南病院附属介護老人保健施設にて、平成27年度秋祭りが（9月19日土曜日）施設内2階のダイニングで行われました。例年、有り難い事に家族様の参加が多く、また、デイケア利用者様と入所・ショートステイ利用者様の合同で行うので室内では狭いとの意見もあり、屋外で行う事も検討しましたが、屋外では、まだ日差しが強いのではないかと多くの意見が多く、室内で行う事にしました。当日は、200名近い人が来所され、晴天でかなり暑かったので室内で行って良かったと思います。

当日は、慰問として大坪保育園の園児が来てくれました。利用者様・家族の皆様・職員も可愛い園児達の歌やダンスに癒されました。また、職員の出し物として、椅子取りゲームをしました。家族様の参加もあり、残り1個の椅子の上にブーブックッションを置くと、曲が止まっても座りたいけど座ろうとしない家族様、それを見て座らせようとする職員との攻防があり、盛り上がりました。昼食時は、昨年度から利用者様・家族様でお弁当と一緒に食べて頂こうと企画をしておりましたので、今年度も同様に行なう事にしました。お弁当をおいしそうに食べられている利用者様・家族様の姿が微笑ましかったです。

来年度の秋祭りも成功出来る様皆様のご協力よろしくお願いたします。

介護福祉士 岩元 淳



QM活動

表彰式が行われました



『 WELCOME 地域包括ケア病棟 』
プロジェクトXチーム



『 私のカルテはどこ？ 』
カルテ捜索隊



『 オムツ持ち込み ZERO の時代へ 』
OMT062 チーム

第41回 九州代謝・栄養研究会

講師
時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、第41回九州代謝・栄養研究会を下記の要項にて開催致します。ご多忙中とは存じますが、万
障お繰り合わせのうえ、コ・メディカルの方も多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。 謹白

プログラム

- 開会の辞【13:00~13:10】
JCHO宮崎江南病院 病院長 白尾 一定 先生
メインテーマ「NSTからチーム医療の推進を！」
- 一般演題25題；NST活動、経腸栄養、静脈栄養など
スイーツセミナー；PIGC(末梢挿入型中心静脈カテーテル)
- 特別講演【15:30~17:00】
座長：JCHO宮崎江南病院 病院長 白尾 一定 先生
「ERASの主要素“周術期経口栄養摂取に
関する最近の知見と実践のヒント”」
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻
消化器外科学 教授 寺島 秀夫 先生

【日時】：2016年3月12日(土)
13:00~17:00

【場所】：宮日会館「宮日ホール」
宮崎県宮崎市高千穂通1-1-33 11階
TEL0985-26-5558

【参加費】医師2000円・コメディカルその他1000円

主催：九州代謝栄養研究会

■お問合せ先
地域医療連携室 TEL.0985-52-4004 (佐藤まで)

研修会のご案内

Information

■平成28年2月18日(木)

第100回 江南医療連携の会 症例検討会

■平成28年3月10日(木)

第101回 江南医療連携の会 症例検討会

新任医師紹介

Newly-appointed doctor introduction



よろしく
お願いします

鶴田 祐介

専門分野
消化器外科

ご意見・お問い合わせ

宮崎江南病院

宮崎市大坪西1-2-1 TEL.0985-51-7575 FAX.0985-53-8821
<http://miyazaki.jcho.go.jp/>

地域医療連携室

TEL.0985-52-4004 FAX.0985-51-1479 (地域医療連携室直通)
E-mail: renkei@miyazaki.jcho.go.jp

室長 白尾 一定 担当 佐藤 貴代